

## 在宅医療・介護連携推進事業に係る 市町村の取組について

(旧ア)地域の医療・介護の資源の把握

R3.12.末日時点

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・医療、介護、歯科、薬局などの社会資源情報一覧を掲載したホームページの管理運営 ページの最終更新: R3.11.11	・更新作業の負担	・医療機関に事業の委託
31	大間町	・平成29年度に風間浦村、佐井村と共同で作成した資源マップに医療機関や包括支援センター等の情報を掲載し、窓口に設置した。令和4年度からは大間病院に委託して更新等を行ってもらう予定。	・医療機関等の情報の更新	・医療機関との意見交換を行いたい場合は連絡をして会議に出席していただいたり、会議を開催してもらっている。
32	東通村	・規模を縮小している事業所があるため、以前作成したマップや連絡先の見直しを図っているところである。	・地域資源の減少により、村外のサービス事業所の開拓が必要だが、対応可能な事業所に限りがある。	・東通村診療所とは随時情報交換可能な環境にある。
33	風間浦村	・H29年度に大間町、佐井村の3カ町村で資源マップを作成。3カ町村内の医療機関や包括支援センター等の連絡先を情報を記載。作成したものは住民へ配布したり村民生活課や包括支援センター窓口で渡したりしている。	・医療機関の更新 ・介護関係事業所の情報の更新	・風間浦診療所とは随時情報交換可能な環境にある
34	佐井村	・H29年度に大間町、風間浦村の3カ町村で資源マップを作成。3カ町村の医療機関や包括支援センター等の連絡先の情報を記載。作成したものは、住民へ配布及び関係機関の窓口を設置している。	・医療機関の更新 ・介護関係事業所の情報の更新	

(旧イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・むつ市在宅医療・介護連携推進協議会や地域ケア推進会議にて、地域課題の抽出や対応策の検討を行う。	・地域課題を解決のための施策につなげていく行程	・在宅医療介護連携推進協議会委員の推薦を依頼
31	大間町	・ケア会議等で医師、薬剤師とケアマネージャーが意見交換をする機会が多くあるため、それぞれの会議の場で課題の抽出、対応策について検討している	・対応策等が出ても町まで届かない場合が多かったため、生活支援体制整備事業の協議会の際に挙げて頂く形にする予定。	・医師との意見交換がしたい時には連絡を取って会議に出席して頂いている。
32	東通村	・週1回のサポート会議で医師や薬剤師、リハビリ専門職、看護師等が課題や対応策について検討している。地域ケア推進会議で移送手段不足に地域課題を絞り、対応策の検討を行ったが根本的な解決方法は見出せていない。	・村全体の社会資源が減少しており。移送、買い物、配食、金銭引き出しなど生活維持における重要課題が長年解決できないまま経過している。	・東通村診療所とは随時情報交換可能な環境にある。
33	風間浦村	・各関係機関の会議、民生委員協議会会議、北通り3カ町村の介護保険担当者の会議等を通して、介護資源等の把握、課題の抽出を行っている。また、課題があるものに関しては対応策の検討を行っている。	・課題はあるが資源(サービス)不足や知識不足により、検討はされるものの解決に至っていない。 ・小規模自治体で解決するのは困難な課題がある	
34	佐井村	・各関係機関の会議、北通り3カ町村の介護保険担当者の会議を通して、介護資源等の把握、課題の抽出を行っている。また、課題があるものに関しては対応策の検討を行っている。	・小規模自治体で解決するのは困難な課題がある。	

(旧ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・むつ・下北看護と介護の連携づくり委員会への参加 ・認知症ケアパスの発行		
31	大間町	・病院と事業所側でいつでも連携ができる体制である。 (大間病院と居宅介護支援事業所くろまつ、包括支援センターくろまつが隣接しているため連携が容易。)		
32	東通村	・医師・看護師・リハビリ専門職等の医療関係者及び、介護支援専門員とのスムーズな連絡体制を構築するため、SNSを活用した情報共有システムの利用促進へ向けて、他事業所への登録について打診継続中。	・休日・夜間においても適宜行政担当者を介して警察・消防と連絡をとり対応している。	・東通村診療所とは随時情報交換可能な環境にある。
33	風間浦村	・退院支援のための連携についての検討を行っている。 入退院の際、介護施設や病院へ情報提供をしている。 (フェイスシートの活用)	・医療機関と行政や包括の連携を強化する必要がある。	・連携の強化
34	佐井村	・入退院の際、介護施設や病院へ情報提供している(フェイスシートの活用)昨年より、大間、風間浦、佐井村3カ町村で大間病院へ委託を打診している。		・医療機関に医療の委託を依頼

(旧オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・むつ市在宅医療・介護連携支援センターの運営 R3.4.1からR3.12.31までの相談件数:14,230件		・医療機関に事業の委託
31	大間町	・包括支援センターに窓口があるが、令和3年度から大間病院で社会福祉士を採用したため、大間病院に令和4年度から委託する予定である。	・委託業務内容の精査	
32	東通村	・地域包括支援センター内に「在宅医療・介護連携支援窓口」を設置。 ・各事業所の介護支援専門員からの医療連携に関する個々の相談に応じている。時間外や休日でも業務携帯電話やMCS(メディカルケアステーション)で対応。	・1人体制の居宅介護支援事業所の介護支援専門員が悩みを抱えやすく、医療機関との連携が難しい印象であり継続的なサポート必要。	・東通村診療所とは随時情報交換可能な環境にある。
33	風間浦村	・現在は地域包括支援センター内に設置。広報や介護予防教室にて住民へ介護に関する相談窓口を周知。北通り3カ町村で大間病院へ委託する方向で動いている。	・医療機関と村の相談窓口との連携を強化する必要がある	・連携の強化
34	佐井村	・地域包括支援センター内に窓口を設置。広報で住民へ介護に関する相談窓口を周知。3カ町村で大間病院への委託を打診。	・医療機関と村の相談窓口との連携強化	・連携の強化

(旧キ) 地域住民への普及啓発

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・終結セミナーにおいて、講師派遣 ・エンディングノートの作成と配布、市ホームページへの掲載		・事業の一部委託
31	大間町	・北通り3ヶ町村で地域住民向けの堅守である物忘れフォーラムを開催している(今年度は大間町で開催)他にも広報の折込や包括だより等での周知を行っている。		
32	東通村	・昨年はコロナ対応で取り組み休止。今年度は、100歳体操などの集いの場を活用し、住民向け研修会を企画し時事に応じたテーマ(熱中症予防など)で開催予定。	・コロナ対策などの兼ね合いで全地区での開催は困難。	・東通村診療所・介護老人保健施設の各専門職より研修テーマに応じて協力が得られる体制にある。
33	風間浦村	・資源マップを配布。 医師を講師として派遣し、介護予防教室や北通り3カ町村で研修会(もの忘れフォーラム)を開催予定だったが、R2年度はコロナにより中止。	・住民への周知が不十分	・医師の日程調整
34	佐井村	・資源マップの配布。	・住民への周知が不十分	

(旧エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・地域連携パスの活用状況の定期的な把握。 ・地域ケア会議において、必要な医療・介護関係者の情報共有のための支援を行う。 ・むつ市救急医療情報キットの配布。		・医療機関に事業の委託
31	大間町	・事業所、病院関係者と定期的な会議や電話連絡を行っている。また、両者が直接聞きにくいような情報は町が間に入って聞くといったこともしている。		
32	東通村	・医療・介護専用SNSを活用し、外部薬局担当者もメンバーとなり情報共有を図っている。各居宅介護支援事業所の介護支援専門員へも登録を促しており、情報共有が円滑になるように取り組んでいる。	・東通村診療所以外の医療機関とは紙ベースでのやりとりが主であり、書式もまちまちである。	・東通村診療所とは随時情報交換可能な環境にある。他院に関しては入退院時の迅速な連絡を依頼している。
33	風間浦村	・北通り3カ町村で協議し、医療と介護リストの作成。統一化した入院時のフェイスシートの活用。	・活用している様式やリストの更新及び修正	
34	佐井村	・北通り3カ町村で協議し、医療と介護リストを作成。統一化した入院時のフェイスシートの活用。	・活用している様式やリストの更新及び修正。	

(旧カ)医療・介護関係者の研修

	市町村名	具体的内容	課題	医師会・医療機関に協力を依頼している内容
8	むつ市	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		・医療機関に事業の委託
31	大間町	・北通り3ヶ町村(大間町、佐井村、風間浦村)で多職種カンファレンスを開催している。また、今年度は大間病院の医師にケアマネージャーの研修をして頂く予定であったが、新型コロナウイルス感染症対応のためできなかった。		
32	東通村	・医療・介護をテーマとした内容ではないが、地域包括支援センター主任介護支援専門員が講師となり、介護支援専門向けにzoomの活用方法について研修実施。今後感染対策を考慮し、オンライン研修を検討。テーマは未定。	・zoomの活用について、関係者が使いこなせるまでのサポート必要。	・東通村診療所とは随時情報交換可能な環境にある。
33	風間浦村	・北通り3カ町村で多職種連携のための研修会や多職種カンファレンスを開催している。		
34	佐井村	・北通り3カ町村で多職種連携のための研修会や多職種カンファレンスを開催している。		